

開運大摩利支天閣 最上稲荷庭瀬支院 覚如山本了院

妙法華寺便り

令和2年9月号

◇ 行事報告 ◇

8月18日（火）摩利支天月例祭

今回も新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら、本堂で式典を執行させて頂きました。

8月は年に一度の金運の上がる日があるというお話でした。その日（殊には最も良い時間帯）に大黒様に五百円をお供えするというものですが、この事を実行するには、その日の計画を立て、準備をして予定通りに物事を進めることが大切となります。思いつきで行動して叶う方もいらっしゃいますが、なかなか



難しいものです。夏の暑い時で体調も悪くなりがちです。イライラすることも多くなってきます。このような時にこそ、思いつきで行動するのではなく、深呼吸して心を落ち着け、一つずつ物事を達成していくことが大切です。



さて来月は彼岸会です。昼と夜を陽の世界と陰の世界とが半分ずつ。昔の人はこの世とあの世が一緒になると考えたようです。また仏教の中道の教えにも繋がります。苦しみの世界を此岸（今生きている世界）から彼岸（あの世）へ到達するという意味があります。塔婆をもって供養することは、ご先祖様に最も早く届くのではないかと

いう思いから施餓鬼の法要を行って、塔婆をお墓に持って行く習慣となりました。

ご先祖への感謝を込めて施餓鬼法要にご参加下さい。

◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

10月18日(日)・11月18日(水) 午前10時より執行いたします。
只今当山では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本堂入り口にアルコール液を用意し、広い間隔での着座をお願いしています。

お会式法要

11月21日(土) お逮夜・翌22日(日) に執行いたします。

21日は午後6時より、22日は、午前10時より一座目、午後2時30分より最終座を始めさせていただきます。(22日の一座目と最終座の間は随時) 是非ご参加下さい。

担当世話人のおられる檀家の方は、10月にお渡しする右の写真の封筒を以て御浄財をお願いいたします。また、遠方の方は、10月のお便りに同封する振込用紙にて御浄財をお願いいたします。

なお、従来、御浄財を頂いた方には紙御札とお菓子等をお返しさせて頂いておりましたが、前回より左の写真のような御札のみとさせて頂いております。この御札は御仏壇に安置して頂くものです。

御札の一番上にあります曼荼羅は災厄から護って下さるものです。その下に日蓮聖人の尊名と聖語をしるしてあります。今までの御札をどこに安置すれば良いのかとのお声もありましたので、このような形の御札を用意させて頂きました。後ろにスタンド

が付いておりますので、自立して安置することができます。

一年を通じて日蓮聖人の威徳をご先祖様にお唱えし、功德をお積み下さい。

